

ポータブルジャンプスターター

取扱説明書(保証書付)

KG-106 / 106C



KG-106



KG-106C

カイセ株式会社

このたびは、ポータブルジャンプスターターKG-106/106Cをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の十分な活用と安全なご使用のために、取扱説明書はいつも手元におき、よくお読みいただいたうえでご使用ください。

もくじ

安全上のご注意	1～5
使用上のご注意	6
構成部品一覧表	7
本体・付属品各部の名称と働き	8～11
仕様	12
使用方法	
1. ジャンプスタート	13～15
2. バックアップ電源	16～17
3. 直流機器のサブ電源	18
4. USB出力による充電	19
5. LEDライト	19
保守管理	
1. 本体の充電	20
2. 保管方法	21
3. 802 OBD II ケーブル、909 シガー充電器のヒューズ交換	21
故障かな?という場合に	22
品質保証規定	23
品質保証書	24
ホームページのご案内	25

安全上のご注意(必ずお守りください。)

取扱説明書には、お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みにになり、記載事項をお守りください。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



この絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



この絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意(必ずお守りください。)

警告

小さいお子様の手の届かない場所で使用、保管する 事故やけが、感電の原因となります。	
使用後は必ず、ケーブルを抜いて保管する 事故やけが、感電の原因となります。	
本体端子部のダストカバーを閉じ、付属のケースに入れて保管する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本製品を持ち運ぶときや保管時は、本体上部のダストカバーをしっかりと閉じ、端子部を保護する(ダストカバーが開いた状態で保管しない) 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
同じ車両でエンジン始動に2回失敗した場合は、その車両に対しての使用を中止する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本体から電解液が漏出している場合や異臭がする時には直ちに火気より遠ざけて使用を中止する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本体から電解液が漏出している場合は、直接触れない 万一皮膚に付着または目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の診察を受ける 失明や皮膚に障害を起こす原因となります。	
エンジン始動後やエンジン始動に失敗した場合は、すみやかにジャンプスタートケーブルを取り外す 事故やけが、感電の原因となります。	
USB出力による充電終了後、本体と被充電機器との接続をすみやかに解除する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
ACプラグやUSBコネクタは根元まで確実に差し込む ホコリによる火災や感電の原因になります。	
本体を充電する際は、当社指定条件の充電器を使用し、当社指定の充電条件を守る 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本体の充電完了後は、すみやかに充電器を外す 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本体の充電は温度が0~40℃の環境で行う 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本体の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は充電を中止する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
本製品に異常を感じたら、直ちに使用を中止する 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	

安全上のご注意(必ずお守りください。)

警告

万が一、本製品が発火した場合は消火器を使って消火する 発火時に水をかけると感電の原因となります。	
手やケーブルなどがぬれた状態で本製品を使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
風呂場やプール、海など水没の危険がある場所では使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因となります。	
ガソリン・オイルなど可燃物の周辺や法令で第一類・第二類危険箇所に 指定されている場所では使用しない 火災や引火・爆発する原因となります。	
可燃物や重いものを乗せたり、毛布や座布団で覆ったり包んだりしない 発熱、発火、破裂、液もれの原因になります。	
本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器などに使用しない 事故、火災、ケガの原因となります。	
本製品を接続した状態で車を走行させない 事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	
暗い場所で作業を行わない 事故や感電、火災、本製品や自動車の故障、破損の原因となります。	
ぬらしたりしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
故障のまま使用しない スイッチが操作できないなどの故障の状態で使用しないでください。 すぐに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。 そのまま使用すると本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
端子類を指で触れたり異物を入れない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
車室内に保管しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
直射日光が当たる場所や、夏季の車内など気温45℃を超える環境および湿度 70%を超える環境で保管しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
分解や改造はしない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
ケーブルの被覆が破れた状態で使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	

安全上のご注意(必ずお守りください。)

警告

加熱したり、火や水の中に入れてない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
ストーブなど熱源に近づけない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
付属品のコード類を束ねたまま使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
付属品以外のケーブル・アダプターを使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本製品付属品を本製品以外に使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本体・付属ケーブル・付属充電器を落下させたり、衝撃を与えない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
使用時および充電時に、たばこなどの火気を近づけない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
使用時および充電時、付近に可燃物を置かない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
可燃性の気体や液体のある場所で使用しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
端子の両極性を金属で接続しない また、ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
本製品の出力端子同士や本製品の出力端子と他製品の出力端子を接続しない 感電、火災、発熱、発火、破裂、ケガの原因となります。	
電子レンジや高圧容器に入れてない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
ペットなどの動物に本製品を触れさせない 本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。	
ジャンプスタートケーブルの赤と黒のクリップを同一端子への接続、逆接続および車両との接触をさせない けがや事故、火災、車両故障および本体故障の原因となります。	
本製品を接続した状態で、3秒以上クランキングを行わない 一度この条件でエンジン始動に失敗した場合は、使用を中止してください。 エンジン始動に必要な電流が製品の放電能力を超過していますので、そのままクランキング動作を行うと、発火、破裂、漏液の原因になります。	

安全上のご注意(必ずお守りください。)

警告

連続してジャンプスタートを行わない

連続してジャンプスタートを行う場合は、10分以上間隔をあけて使用してください。
間隔をあけずにジャンプスタートを行うと、発火、破裂、漏液の原因になります。



車両に対して本製品を単体で接続した状態でエンジンを始動しない

本製品は車両バッテリーの応急補助製品であり、車両バッテリーの代わりとしては使用できません。



ジャンプスタート以外でジャンプスタートケーブルを本体に接続しない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。



24V車のジャンプスタートを行わない

本製品は12V車専用です。
本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。



極度に劣化または深放電しているバッテリーのジャンプスタートをしない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。



満充電の状態で充電をしない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。



AC充電器は指定された電源電圧以外の電圧で使用しない

AC充電器の指定電源電圧は交流100～240Vです。直流電源には接続しないでください。
感電、火災、発熱、発火、破裂、ケガの原因となります。



充電器を屋外で使用しない

感電、火災、ケガの原因となります。



LEDライトを人の目に向けて照射しない

失明の原因になります。



12V車両以外でシガー充電器による充電を行わない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。



本体の充電をしながら本製品を使用しない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。



本製品を取扱説明書記載の使用方法以外の使用をしない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。



ジャンプスタート中に他の出力を使用しない

本体の発熱、破裂、発火および火災、けが、感電の原因になります。



本体や付属ケーブルがエンジンなどに巻き込まれないように注意する

本体・車両故障、けがの原因になります。



本製品の取り扱いを誤ったことで、車両や車載品、使用する機器などの事故や破損、損害が発生した場合、弊社では一切の責任を負いかねます。また保証の対象外となります。

使用上のご注意

- 本体は防塵・防滴仕様ですが、ダストカバーが開いた状態では仕様を充たしません。また、本体が濡れた場合はふき取ってから使用してください。
- ※805 ジャンプスタートケーブルは防塵・防滴仕様ではありません。水に濡らさないでください。
- アルコールを含む液体で本製品をふかないでください。変色やひび割れの原因となります。
- 高い電磁環境に近づけないでください。本体の損傷や動作不良の原因になります。
- 長期間使用しない場合は、3ヶ月ごとに充電を行ってください。
- 使用する端子以外のダストカバーは閉じてください。
- ジャンプスタートケーブルの接続は、クリップ(赤)、クリップ(黒)の順番で接続してください。解除はクリップ(黒)、クリップ(赤)の順番で行ってください。
- ジャンプスタートに失敗した場合は、ジャンプスタートを中止してください。本製品の出力電流仕様を超えているか、バッテリー上がり以外の原因が考えられます。そのままジャンプスタートを行った場合、本体故障の原因になります。
- 連続してジャンプスタートを行う場合は、10分以上間隔をあけてください。
- 本体の出力と入力を接続しないでください。発熱、液もれ、故障の原因となります。
- 本体内蔵バッテリーは使用方法や保存方法によっては、著しく劣化する場合があります。内蔵バッテリーの劣化による不具合は、保障の対象外となります。
- 電池の特性として保存しているだけでも劣化は進行しております。サイクル寿命はあくまで放電能力の目安となり、サイクル寿命未満のご使用でも製品寿命を迎える場合があります。
- 対応車であっても、車両の状態、車両の仕様、環境によってはジャンプスタートできない場合があります。

取り扱いについて

- 衝撃を与えないでください。
本製品を落下、たたくなどして衝撃を与えると故障の原因となります。
- ケーブルを無理に引っ張らないでください。
ジャンプスタートケーブルなどのケーブル類を外す際など、ケーブルを無理に引っ張ると断線など故障の原因となります。

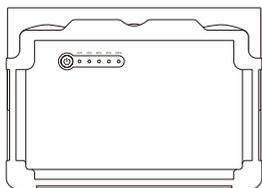
保管場所について

- 下記の場所には保管しないでください。
 - ・ ホコリの多い場所
 - ・ 気温-10℃以下45℃以上、湿度70%以上のところ
 - ・ 水のかかるところ
 - ・ 結露のあるところ
 - ・ 強い衝撃が加わるところ
 - ・ 直射日光のあたるところ

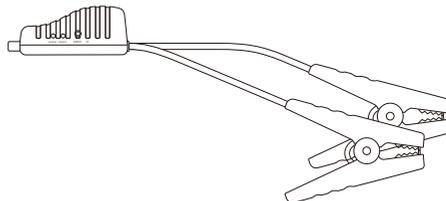
構成部品一覧表 (ご使用前にご確認ください。)

本製品には、下記のものと同梱されています。ご使用前にご確認ください。
万一、不足している場合や破損している場合は、すぐに販売店にご連絡ください。

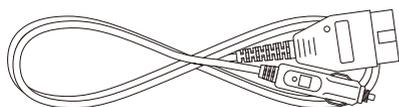
① 本体…1台



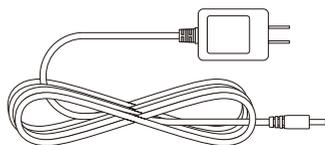
② 805 ジャンプスタートケーブル…1本



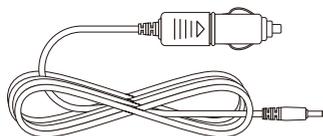
③ 802 OBD II ケーブル…1本



④ 908 AC充電器…1本



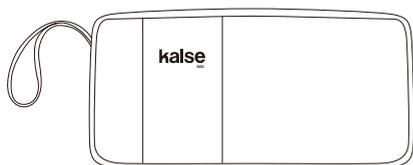
⑤ 909 シガー充電器…1本



⑥ 690 ワイヤブラシ…1組 (3本セット)

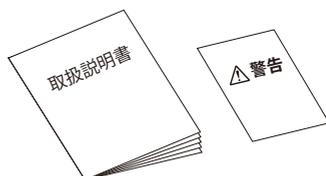


⑦ 1032 キャリングケース…1個



⑧ 取扱説明書 (保証書付)…1冊

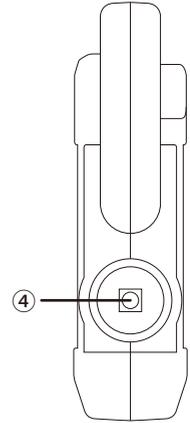
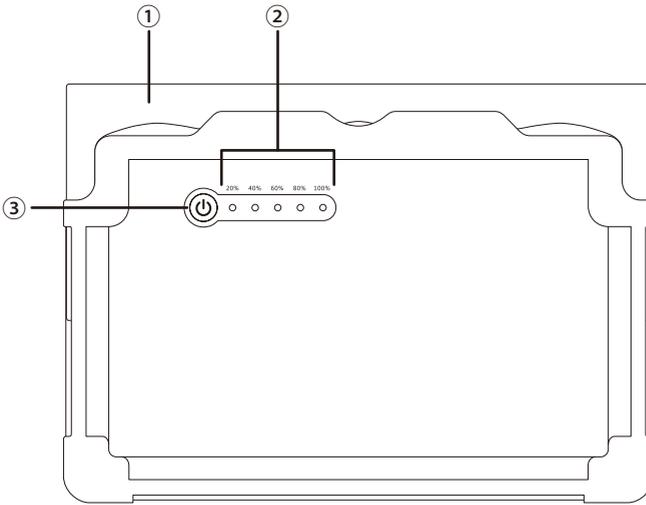
⑨ 警告カード…1枚



本体・付属品各部の名称と働き

■本体前面

■本体側面



①取っ手：

- 各端子使用時に、この取っ手を引き上げます。
- LEDライト使用時に、取っ手として使用できます。

②残量インジケータ：

- 5個のLEDの点灯状態で、本体内蔵バッテリーの残量を表示します。

● ● ● ● ●	全点灯(100%~81%)
● ● ● ● ○	4つ点灯(80%~61%)
● ● ● ○ ○	3つ点灯(60%~41%)
● ● ○ ○ ○	2つ点灯(40%~21%)
● ○ ○ ○ ○	1つ点灯(20%~11%)
⚡ ● ○ ○ ○ ○	1つ点滅(10%~1%)
○ ○ ○ ○ ○	全消灯(0%)

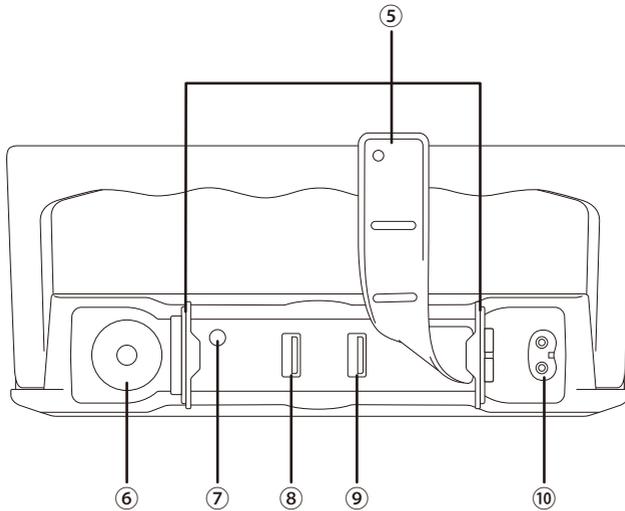
③電源キー(兼LEDライトスイッチ)：

- このキーを押すと残量インジケータが点灯します。
- このキーを長押しするとLEDライトが点灯します。

④LEDライト

本体・付属品各部の名称と働き

■本体上面



⑤ダストカバー：

- 各端子使用時に、このカバーを開きます。
- 持ち運ぶときや保管時は、このカバーが端子部を保護しますので、必ず閉じてください。

⑥シガーソケット出力端子(ダストカバー内)：

- この端子とDLC(車両側コネクタ)を付属の802 OBD II ケーブルで接続することで、車両メモリーのバックアップ電源として動作します。
- DC12V機器のシガーソケットをこの端子と接続することで、DC12V機器を使用できます。

⑦充電器接続端子(DC15V入力)(ダストカバー内)：

- この端子と家庭用コンセントを908 AC充電器で接続、または車両の12Vシガーソケットを909シガー充電器で接続することで、本体内蔵バッテリーの充電を行います。

⑧USB出力端子(DC5V)(2A)(ダストカバー内)：

- スマートフォンなどの被充電機器付属のUSB Aオスプラグを差し込んで充電を行う2A仕様の出力端子。

⑨USB出力端子(DC5V)(1A)(ダストカバー内)：

- スマートフォンなどの被充電機器付属のUSB Aオスプラグを差し込んで充電を行う1A仕様の出力端子。

⑩ジャンプスタート出力端子(ダストカバー内)：

- ジャンプスタートケーブルのプラグを差し込んで車両のジャンプスタートを行います。

本体・付属品各部の名称と働き

■本体背面

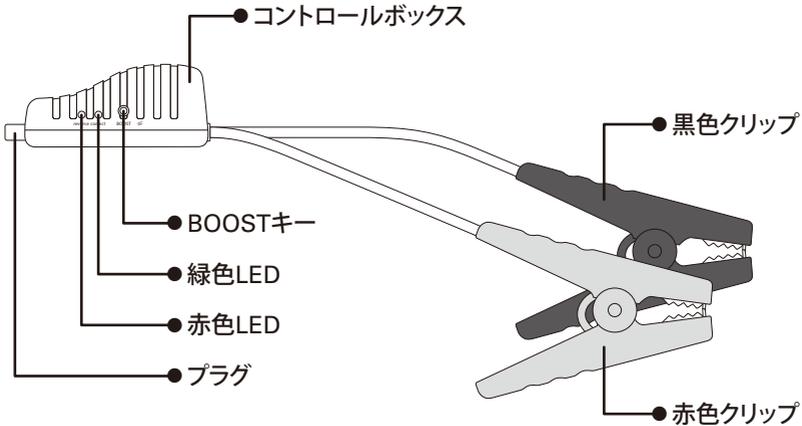


①警告内容

●本警告内容を厳守してご使用ください。

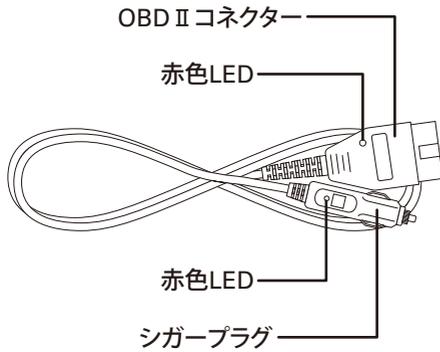
②シリアルナンバー

■805 ジャンプスタートケーブル

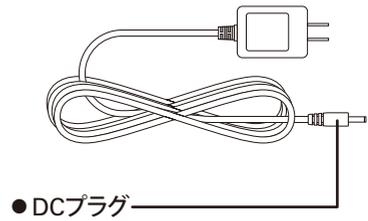


本体・付属品各部の名称と働き

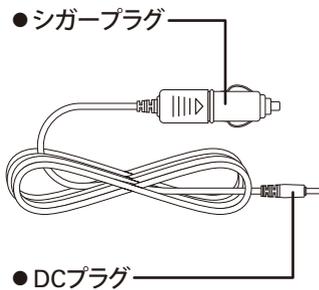
■802 OBD II ケーブル



■908 AC充電器



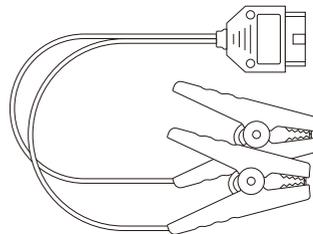
■909 シガー充電器



別売付属品

■808 バッテリークリップ変換ケーブル

バッテリー交換の際に、本体をバッテリーターミナルに接続して、車両メモリーのバックアップを行うためのケーブルです。OBD II コネクターに電源が無い車両や、OBD II 接続によるバックアップが禁止されている車両にご使用ください。



仕様

1. バッテリータイプ	充電式リチウムイオンバッテリー (リン酸鉄)
2. バッテリー容量	16000mAh (3.2V)
3. 出力	ジャンプスタート出力端子: DC12V/300A USB出力端子: DC5V/1A, DC5V/2A シガーソケット出力端子: DC12V/10A
4. 入力	DC15V/1A (充電用入力端子)
5. ジャンプスタート電流	300A
6. ジャンプスタート対応車 (目安)	排気量4000cc以下の12Vガソリン車、 排気量3000cc以下の12Vディーゼル車
7. 出力端子形状	ジャンプスタート出力端子: 独自コネクター USB出力端子: USBタイプAメス シガーソケット出力端子: シガーソケット (内側+ / 外側-)
8. 入力端子形状	DC1.3メス
9. 本体充電方法	専用充電器 (908AC充電器 / 909シガー充電器)
10. 本体充電時間	約6時間 (AC充電器の場合)
11. 残量インジケータ	5個のLEDにて本体内蔵バッテリー残量を7段階表示
12. LEDライト機能	高輝度LEDによる、3モード (点灯 / 点滅 / SOS信号) の切り替えが可能
13. 保護回路	ジャンプスタートケーブル: 短絡、逆接続、過放電、過電流、 逆電流、低電圧、高電圧 USB出力 / シガーソケット出力: 過電流、過放電 本体入力: 過充電
14. サイクル寿命	約2000回 ※使用方法や保存環境によって大きく変化します。充放電サイクル回数を保障するものではありません。
15. 防塵防滴仕様	IP63
16. 使用温度	環境温度: -10~45℃、本体温度: 0~45℃
17. 充電時温度	0~40℃
18. 保存温湿度	-10~45℃ 70%rh以下 (ただし結露のないこと)
19. 寸法	約188mm (H) × 約134mm (W) × 約37mm (D)
20. 質量	約810g (本体のみ)
21. 付属品	805 ジャンプスタートケーブル、802 OBD II ケーブル、908 AC充電器、 909 シガー充電器、690 ワイヤブラシ、1032 キャリングケース、 取扱説明書 (保証書付)、警告カード
22. 別売付属品	808 バッテリークリップ変換ケーブル

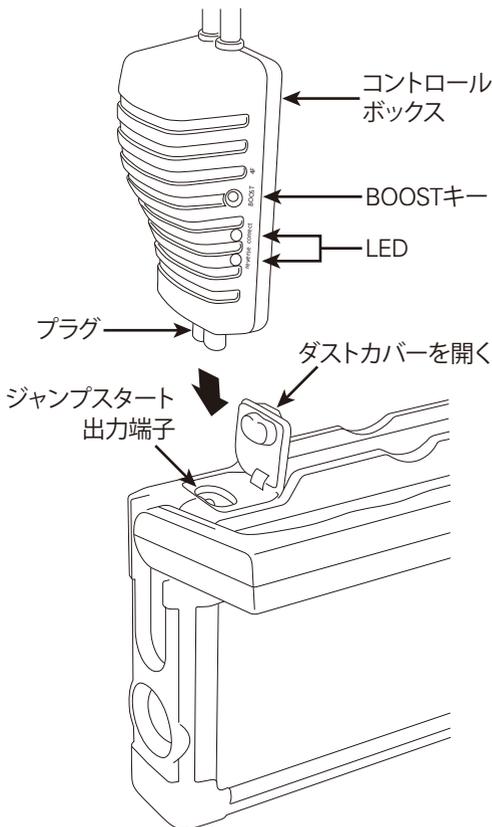
使用方法

1. ジャンプスタート

⚠ 警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

- ①電源キーを押して、残量インジケーターが3個以上（バッテリー残量41%以上）であることを確認します。
 - ②本体の取っ手を引き上げてダストカバーを開き、805 ジャンプスタートケーブルのプラグを本体上面のジャンプスタート出力端子に接続します。
コントロールボックスのLEDが消灯していることを確認します。
- ※BOOSTキーは強制的にクリップ部分と本体を導通させます。コントロールボックスの状態検知機能を無効化するため、短絡や逆接続時に大電流が発生し大変危険です。④で指示がある場合以外では、絶対に押さないでください。

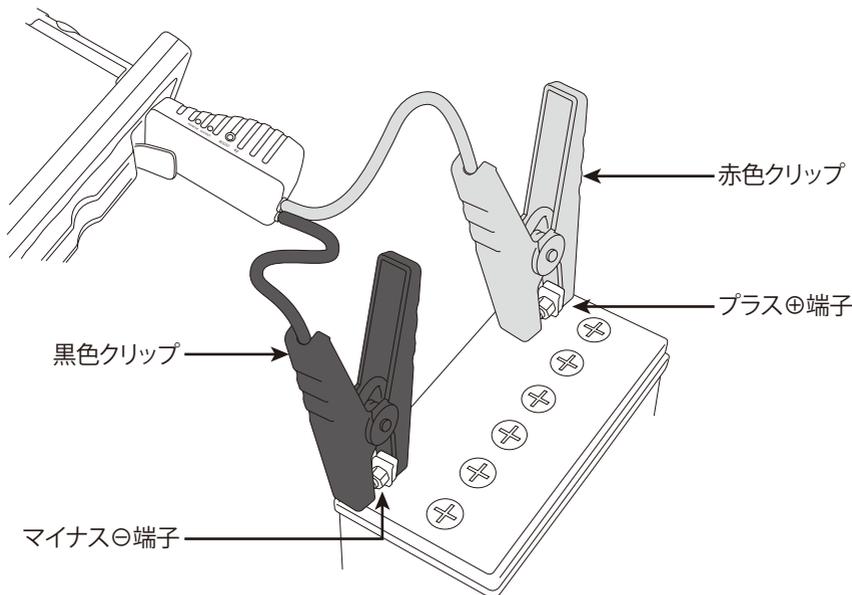


⚠ 警告/注意

ジャンプスタートの際、ジャンプスターターケーブルのプラグを本体に接続した段階（車両とは未接続の状態）で、コントロールボックスのLEDが点灯し続けている場合は故障しています。その場合は、直ちに使用をやめ、ジャンプスタートケーブルと本体の接続を解除し、修理依頼を行ってください。

使用方法

- ③805 ジャンプスタートケーブルのクリップを車両のバッテリー端子に接続します。初めに赤色クリップを車両バッテリーのプラス⊕端子に、その後黒色クリップをマイナス⊖端子に接続します。バッテリー端子に汚れが付着している場合は、付属の690 ワイヤブラシで汚れを除去してから接続してください。



- ④コントロールボックスの状態により、下記の操作に従ってください。
- 緑色LED点灯：接続が正しくされています。エンジン始動をしてください。
※エンジン始動時は、本体の負荷を抑えるために車両のヘッドライトやエアコンなどの電装品をOFFにしてください。
※対応車両であってもバッテリー状態や環境により正常にジャンプスタートできない場合があります。
 - 赤色LED点灯 & ブザー音：接続が間違っています。③からやり直してください。
 - 緑色LED点滅 & ブザー音：車両バッテリー電圧が低いです。BOOSTキーを押して、緑色LEDが点灯したことを確認後、30秒以内にエンジンを始動してください。
※BOOSTキーは強制的にクリップ部分と本体を導通させます。コントロールボックスの状態検知機能を無効化するため、短絡や逆接続を絶対に行わないでください。
※BOOSTキー押下後は30秒で出力が停止します。
 - 全LED点灯 & ブザー音無：車両バッテリー電圧が13.6V以上、または本体電圧より高いです。
 - 全LED消灯 & ブザー音無：車両バッテリーが劣化し、電圧がほとんどない可能性があります。ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

使用方法

- 緑色LED点滅&ブザー音無：短絡保護などの異常検出による保護が働いています。使用中に中止してください。
 - エンジン始動後、逆電流保護が働くことがありますが異常ではありません。
以下の方法で本体と車両の接続を解除してください。
- ⑤ 805 ジャンプスタートケーブルのプラグを本体から外します。
- ⑥ 車両バッテリーの端子から黒色クリップを外し、その後に赤色クリップを外します。
- ※ ジャンプスタート動作を行うと、一時的な電圧降下による過放電保護の作動が発生し、本体の電源が入らなくなることがあります。その場合は、一度充電動作を行うことにより、過放電保護が解除されます。
- ⑦ 使用後は、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。

ジャンプスタート時のアドバイス

- 気温の低い所で本製品を保管すると、本体の温度が低下してジャンプスタートの性能も低下します。使用する直前まで室温での保管を推奨いたします。
- ジャンプスタートを行う場合は、可能な限り満充電状態でジャンプスタートを行ってください。

■コントロールボックス動作一覧

	正常			異常な状態		
検知	車両バッテリー電圧が3V~13.6V (*1)	プラスマイナス逆接続	電圧検知不可	車両バッテリーが完全放電の状態 (1.8V以下)	車両バッテリー電圧が低い (1.8V~3V)	車両バッテリー電圧が高い (13.6V以上) (*2)
警告	LED： 緑 点灯	LED： 赤 点灯	LED： 消灯	LED： 消灯	LED： 緑 点滅	LED： 赤 緑 点灯
	リレー作動音	ブザー音	ブザー音なし	ブザー音なし	ブザー音	リレー作動音なし
作動	作動可能	作動不可	接続状態と車両バッテリー電圧を確認	作動不可	BOOSTキーを押してLED緑が点灯後に作動可能	作動不可

■コントロールボックス



※ 逆接続を検知するためには2.5V以上の電圧が必要です。
※ BOOSTキーは誤って押されないよう、凹構造になっています。

*1： 本体電圧が13.6V未満の場合は、本体電圧が上限となります。

*2： 本体電圧が13.6V未満の場合は、本体電圧以上となります。

■保護機能

保護内容	LED	ブザー音	保護内容	LED	ブザー音
短絡保護	緑色点滅	鳴らない	逆電流保護	赤色/緑色点灯	鳴らない
逆接続保護	赤色点灯	鳴る	過電流保護	緑色点滅	鳴らない
過放電保護	消灯	鳴る			

使用方法

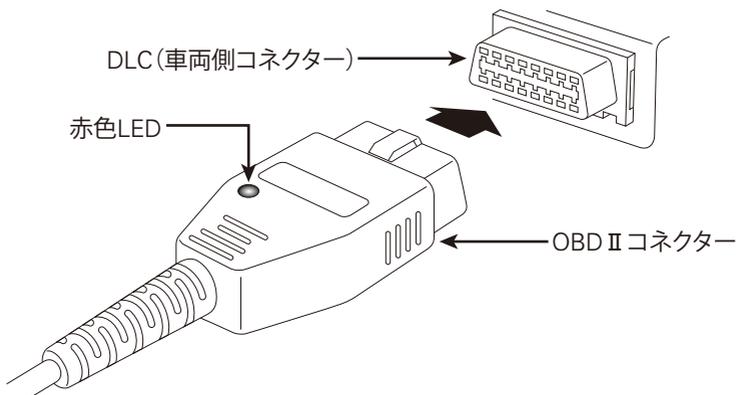
2. バックアップ電源

⚠ 警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

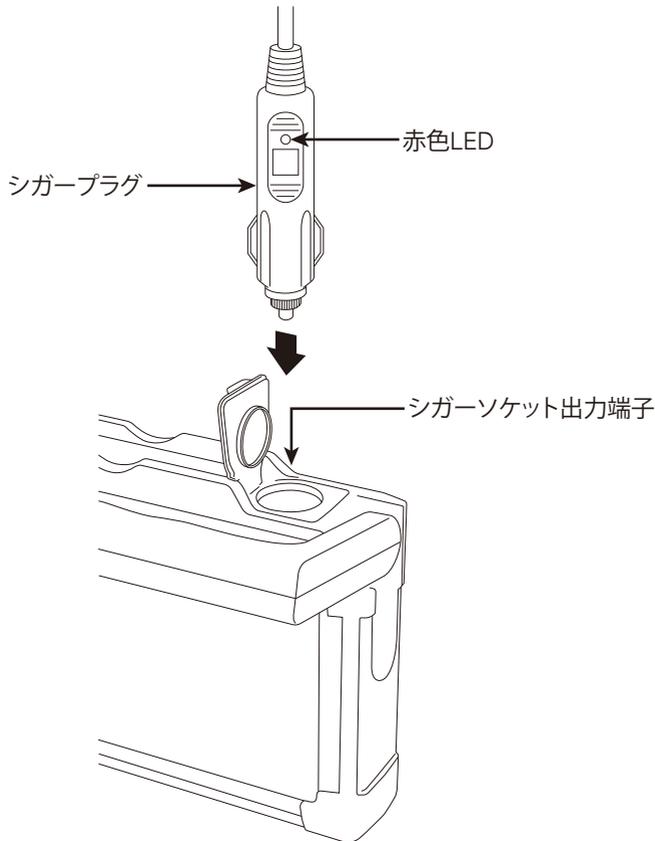
バッテリー交換時、802 OBD II ケーブルで本体と車両のDLC (車両側コネクタ)を接続することで、車両メモリーをバックアップできます。

- ①車両のキーを抜き、5分以上放置します。
 - ②車両のライト類(室内灯含む)を全てOFFにします。
 - ③電源キーを押して残量インジケータが点灯することを確認します。
 - ④802 OBD II ケーブルのOBD II コネクタを車両のDLC(車両側コネクタ)にしっかりと差し込みます。
 - ⑤OBD II コネクタの赤色LEDが点灯したことを確認します。赤色LEDが消灯した状態ではバックアップ電源として機能しません。
- ※OBD II コネクタがしっかりと差し込まれていても赤色LEDが点灯しない場合は、DLC(車両側コネクタ)に電源が無いことが原因と考えられます。この場合は、別売付属品の808バッテリークリップ変換ケーブルで、バッテリーターミナル接続によるバックアップが可能です。



- ⑥本体の取っ手を引き上げダストカバーを開き、シガーソケット出力端子に、802 OBD II ケーブルのシガープラグをしっかりと差し込みます。
 - ⑦シガープラグの赤色LEDが点灯したことを確認します。赤色LEDが消灯した状態ではバックアップ電源として機能しません。
- ※赤色LEDが点灯しない場合は、シガープラグの接続および本体バッテリーの残量を確認してください。問題が無い場合はシガープラグ内部のヒューズが切れている可能性があります。

使用方法



- ⑧バッテリー交換などの作業を行います。終了しましたら本体と車両の接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。
- ※バックアップ中にブレーキを踏んだり、ライトや室内灯を点灯したり、キーを回したりしないでください。802 OBD II ケーブル内のヒューズが切れることがあります。
 - ※車両バッテリーが過放電している場合、802 OBD II ケーブル内のヒューズが切れることがあります。
 - ※802 OBD II ケーブルは250V 2Aヒューズが内蔵されています。ヒューズ切れの場合は、同仕様のヒューズと交換してください。仕様の異なるヒューズの使用は絶対にしないでください。(P21参照)
 - ※一部の車両ではバックアップ動作を行うと過電流によりブレーカーが作動し、車両メモリーが消去する場合があります。整備要領書などでご確認ください。
 - ※本体と車両を接続したままエンジンを始動しないでください。
 - ※車両によってはDLC(車両側コネクター)から電源を供給できず、バックアップ動作を行うことができない場合があります。

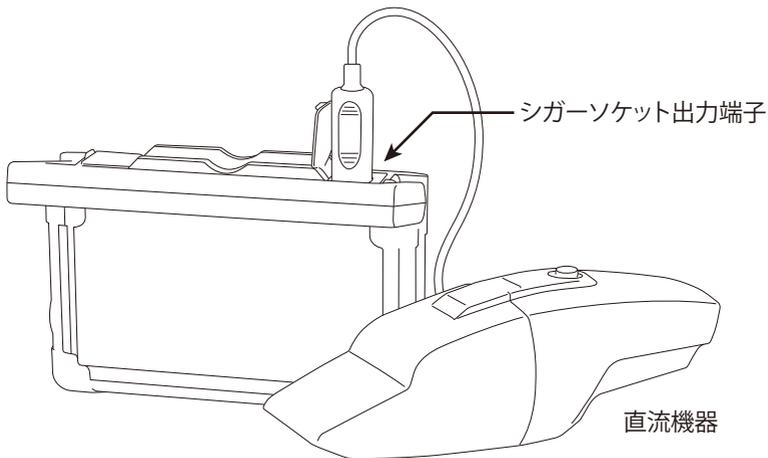
使用方法

3. 直流機器のサブ電源

警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

- ①電源キーを押して残量インジケーターが点灯することを確認します。
- ②本体の取っ手を引き上げダストカバーを開き、シガーソケット出力端子に直流機器のシガーソケットを接続して使用します。



- ③使用後は本体と直流機器の接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。
- ※ 定格を超えた機器に接続した場合や出力を短絡した場合は、本体の過電流保護が働き使用できなくなります。その場合は一度充電を行うことで復帰します。
 - ※ 本体電池残量が0%の状態で使用し続けた場合は、本体の過放電保護が働き使用できなくなります。その場合は一度充電を行うことで復帰します。

使用方法

4. USB出力による充電

警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

- ①被充電機器付属または市販の充電ケーブルを本体のUSB出力端子(1Aまたは2A)に差し込み、本体と被充電機器を接続すると充電が開始します。
※被充電機器によっては、USB出力端子(2A)を使用することで充電速度が速まる場合があります。
- ※2つのUSB出力端子を使用することで、被充電機器2台を同時に充電することができます。
- ②充電終了後、本体と被充電機器の接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。

接続しても充電が開始されない場合

接続しても充電が開始されない場合は、端子部分に接触不良が無いか確認してください。また、接続する出力端子を変更してみてください。

※端子部分に接触不良が無い場合は、出力電流が仕様を超えている可能性があります。また、20秒ほどで残量インジケータが消灯する場合は、何らかの理由で電流が流れないか、電流が100mA以下の可能性があります。

- ※完全に電池を消費し、電源が入らなくなった状態の機器には使用できない場合があります。
- ※使用する機器によっては充電できない場合があります。
- ※使用する機器によっては満充電にならない場合があります。
- ※被充電機器の画面にエラーが表示された場合は、ただちに使用を中止してください。

5. LEDライト

警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

- ①電源キーを長押しすると、LEDライトが点灯します。
- ②さらに電源キーを押すごとに、下記の順で発光モードが変化します。

■発光モード



1. 本体の充電

⚠ 警告/注意

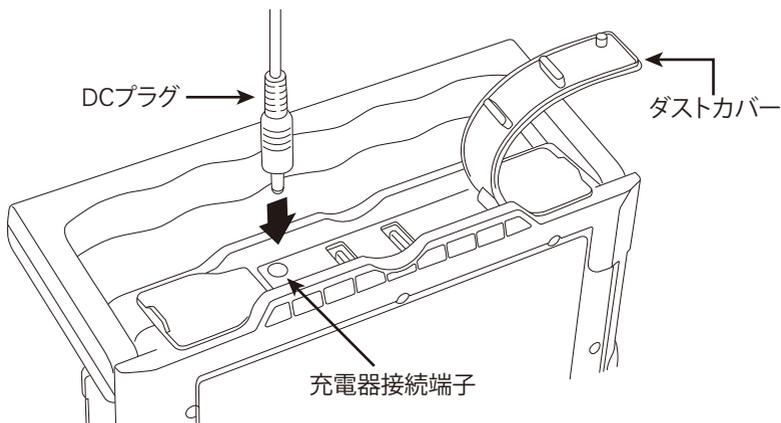
P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

■家庭用コンセントによる充電

- ① 本体の取っ手を引き上げダストカバーを開き、充電器接続端子に付属の908 AC充電器のDCプラグを差し込みます。
- ② 908 AC充電器を家庭用コンセントに差し込みます。
※必ず908 AC充電器と本体を接続した後コンセントに差し込んでください。
- ③ 本体の充電が開始され、残量インジケーターが点滅します。
- ④ 充電が終了すると残量インジケーターが消灯します。
- ⑤ 充電終了後は、本体と家庭用コンセントの接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。

■車両のシガーソケットによる充電(12V車両専用)

- ① 車両のエンジンが始動していることを確認します。エンジン停止状態での充電はバッテリー上がりの原因になります。
- ② 本体の取っ手を引き上げダストカバーを開き、充電器接続端子に付属の909 シガー充電器のDCプラグを差し込みます。
- ③ 12V車両のシガーソケットに909 シガー充電器のシガープラグを差し込みます。
- ④ 本体の充電が開始され、残量インジケーターが点滅します。
- ⑤ 充電が終了すると残量インジケーターが消灯します。
- ⑥ 充電終了後は、本体と車両の接続を解除して、本体のダストカバーをしっかりと閉じてください。



2. 保管方法

⚠ 警告/注意

P1～P5の警告および注意事項をよくお読みのうえ、その内容を厳守してご使用ください。

本体バッテリーを長持ちさせる長期保管の方法

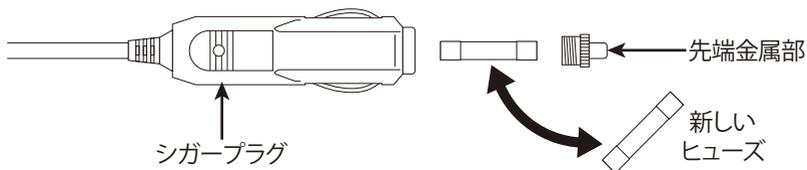
- 放電状態での長期保管はバッテリーの劣化に繋がるため、3ヶ月に1回程度の充電を推奨します。
- 長期保管時の充電は充電完了まで充電せず、残量インジケーターが3～4つ点灯の状態を保つと、本体バッテリーの劣化を最小限に抑えることができます。
- 直射日光を避け、涼しく湿気の少ない場所に保管してください。

3. 802 OBD II ケーブル、909 シガー充電器のヒューズ交換

- ① シガープラグ先端の金属部を反時計回転に回して外し、内部のヒューズを取り出します。
- ② ヒューズ内の線が切れている場合は新しいヒューズと交換します。下記の表を参照し、必ず同仕様のヒューズと交換してください。

ケーブル	ヒューズ型式	仕様	寸法
802 OBD II ケーブル	F42	250V 2A	φ6×30mm
909 シガー充電器	F43	250V 2A	φ5×20mm

- ③ シガープラグ先端の金属部を時計回転に回して取り付けます。



故障かな?という場合に

故障かな?という場合には、以下の症状、原因と処置をご参照ください。
本製品について、わからない点やご質問、故障の場合は、お買い上げの販売店または
カイセ株式会社 製造サービス課にお問い合わせください。

症 状

原因と処置

電源が入らない

- 本体の充電量が低下している。または過放電保護が働いている。
→ 本体の充電を行ってください。(P20 参照)

LEDライトが
点灯しない

- 本体の充電量が低下している。または過放電保護が働いている。
→ 本体の充電を行ってください。(P20 参照)
- 電源キーを長押ししていない。
→ 電源キーを長押ししてください。

ジャンプスタートが
できない

- エアコンやヘッドライトなどの負荷がかかっている。
→ ジャンプスタート時は本体の負荷を抑えるために、エアコンやヘッドライトなどの電装品をOFFにしてください。
- 車両バッテリー電圧が13.6V以上になっている。
→ 車両バッテリー電圧が高いため、ジャンプスタートはできません。
- 車両バッテリーが極度に劣化している。
→ 車両バッテリーが極度に劣化している場合は、805 ジャンプスタートケーブルコントロールボックスの緑色LEDが点灯せず、ジャンプスタートはできません。
- 本製品の対応車ではない。
→ 本製品の対応車は排気量4000cc以下の12Vガソリン車および、排気量3000cc以下の12Vディーゼル車となります。
- 始動に必要な電流が本製品の仕様を超過している
→ 対応車両であり接続方法が正しくても、車両の状態や仕様、環境によっては放電能力が足りずにジャンプスタートできない場合があります。

USB出力が
できない

- 本体と被充電器の接続がしっかりと行われていない。
→ 端子とコネクターの接続を確認してください。

品質保証規定

品質保証期間中に説明書に則った正しい使用状態において、万一故障が生じた場合には、無償で修理いたします。ただし、下記事項に該当する故障・破損は無償修理の対象から除外し、有償修理となります。

記

1. 取扱説明書に基づかない不適当な取り扱い、または使用による故障。
2. カイセ特約サービス代理店、または当社サービス部門以外でなされた修理または改造に起因する故障。
3. お買い上げ後の輸送または落下等によって生じた故障。
4. 火災、水害、地震等天災地変によって生じた故障・破損。
5. ケーブル類の破損、内部バッテリーの劣化。
6. 品質保証書の提出がない場合。
7. その他、当社の責任とみなされない故障。
8. 本証明書は日本国内においてのみ有効です。

修理依頼	年 月 日
故障の症状 故障の原因(わかったら)	

品質保証書

MODEL KG-106/106C		Serial No.		
品質保証期間	購入日	年	月	日から1カ年
販売代理店および所在地				
印				

- ※品質保証期間中に正常な使用状態で、万一故障などが生じた場合は、裏面記載の品質保証規定により無償で修理いたします。製品にこの品質保証書を添えて、上記販売代理店、または直接カイセ株式会社製造サービス課へご送付ください。
- ※購入年月日は販売代理店が記入します。販売代理店名およびその押印なき品質保証書は無効となりますので、購入時に確認してください。


カイセ株式会社

〒386-0156 長野県上田市林之郷422 電話 0268-35-1600(代表)

ホームページのご案内

1. KG-106/106C 製品情報ページ

製品情報の閲覧や製品カタログ(PDF)、取扱説明書(PDF)のダウンロード／印刷が可能です。

KG-106/106C 製品情報ページURL

https://www.kaise.com/j_car_kg106_106c.html



カイセトップページ(<https://www.kaise.com>)から、製品情報をプルダウン → 自動車用テスターをクリック → KG-106/106Cポータブルジャンプスターターをクリックでもアクセスできます。

2. ユーザー登録

ユーザー登録していただくことで、新製品情報などをEメールにて配信いたします。

ユーザー登録ページ URL

下記にアクセスし、

“KG-106/106Cポータブルジャンプスターター”をクリック

https://www.kaise.com/j_user.html



KG-106/106C 製品情報ページ → ユーザー登録をクリックでもアクセスできます。



kaise

カイセ株式会社

■製品・修理に関するお問い合わせ…

製造サービス課：TEL 0268-35-1602 FAX 0268-35-5515

〒386-0156 長野県上田市林之郷422

TEL 0268-35-1600(代) FAX 0268-35-1603

E-mail service@kaise.com
